中医弁証トレーニングシート

№14

年齢	19	歳	性別	○	男		女	初診	1988年4月22日	作成日	2017.7.9

主　　訴	淋証（慢性前列腺炎）に伴う尿后餘瀝 腰骶部疼痛、少腹脹墜、尿后滴瀝半年余。
病　　史	患者は半年前労累により腰骶部痠痛、少腹脹墜、排尿后に常に尿が残る不浄的感覚（スッキリしない）、時に尿后滴瀝と尿道口に白色の分泌物の流出があった。同時に全身の乏力を感じ、頭昏、失眠があった。
現 病 歴	最近の半月の間に上述の症状が加重し、併せて遺精現象があった。治療を受けたが、症状に未だ軽減が見られないため鍼灸治療を求めて来た。
四診所見 （検査）	【望診・聞診・問診・切診】 ①腰骶部痠痛 ②少腹脹墜 ③排尿后に常に尿が残る不浄的感覚（スッキリしない） ④尿后滴瀝 ⑤尿道口に白色の分泌物の流出 ⑥全身の乏力 ⑦頭昏 ⑧失眠 ⑨遺精現象
舌　　診	⑩舌質淡
脉　　診	⑪脉沈細、尺弱
病位弁証	【五臓：肝・心・脾・肺・腎】【六腑：胆・小腸・胃・大腸・膀胱】【奇恒之腑：脳・髄・骨・脉・女子胞・命門・精室】
八綱弁証	【表証・裏証・半表半裏証】【寒証・熱証】【虚証・実証】【陰証・陽証】
病性弁証	【気病弁証】気虚・気陥・気滞・気逆（肺気・胃気・肝気）・気随血脱・気虚失血・気血両虚 【血病弁証】血虚・血熱・血瘀・気滞血瘀 【津液不足弁証】 【津液病弁証】

病因弁証	【六淫弁証】風・寒・暑・湿・燥・火 【七情弁証】喜・怒・憂・思・悲・恐・惊 【飲食労倦弁証】傷食・中毒・過労・過逸
病　　機	
証　　名	
弁証分析	
主要な 弁証類型	
治則治法	
配穴処方	
処方意義	
伝　　変	
按　　語	